

2006年度 第2回 私立大学図書館協会
阪神地区相互利用担当者連絡会議事要録

日時： 2006年12月9日(土) 11:00 ~ 16:00
場所： 関西福祉科学大学 学園2号館4階 403講義室 他
出席者： 45校 56名

挨拶： 関西福祉科学大学図書館長 伊藤 一雄
司会： 関西福祉科学大学図書館課長 田原 里香子

議事に入る前に資料の確認があり、出席者名簿についての変更及び欠席の連絡があった。

大阪音楽大学	松尾 千津子	欠席
関西学院大学	高島 祐子	有川 浩
甲南女子大学	柴山 晴江	欠席
園田学園女子大学	中堀 恵美	欠席

1. 連絡事項

- (1) 京都地区・阪神地区間の相互利用についての現在の状況
幹事校より、報告資料に基づき経緯および今後の方針について説明があった。京都地区との相互利用にあたっては、書式の統一を見送り、両協議会で申し合わせを交わす方針で調整を進めていくことになった。
- (2) 分担保存誌の簡易調査について
幹事校より、今後のスケジュールについて報告があった。
- (3) 阪神地区協議会相互利用担当者連絡会MLのアドレス更新について
幹事校より更新の時期について提案があり、以下の通り了承された。
2006年度更新
1) 12月中：議事録送信の前
2) 各月末
2007年度更新
1) アドレスの確認依頼（第1回連絡会通知の際）
2) 各月末

2. 承合事項

事前に提出された承合事項の一部についてアンケート形式で調査し、60館より回答があった。まとめた結果を当日の資料として配布した。

- (1) データベース利用目的の訪問利用について
データベースの契約条件を前提とするが、相互利用同様に訪問利用の依頼をすることを確認した。
 - (2) 現物貸借資料の利用者への指導について
 - (3) 現物貸借で借り受けた図書の複製について
 - (4) 複写料金の取り扱いについて
- (2)～(4)の事項に関しては、事前調査で回答が得られたため、趣旨説明のみ行った。

- (5) 国会図書館より借受図書の複写申請について
申請中の1館より説明があった。
- (6) 相互利用業務におけるアウトソーシングの実情について(分科会Aのみ)
参加者16名中の回答数。
アウトソーシングを行っているか。
 行っている 9名
 行っていない 8名
 分館は行っているが、本館は行っていない場合(複数回答)あり。
 専任職員以外の担当内容(委託・非委託関係なく)
 (受付) 複写 12名 貸借 10名
 (依頼) 複写 7名 貸借 7名
- (7) 海外との相互利用について(BLを除く)(分科会Aのみ)
参加者14校の回答数。
GIF-ILLに参加しているか。
 参加している 4校
 E-Mail等で行っているか。
 行っている 4校
 過去5年以内に申込みを受付けたことがあるか。
 ある 7校 複写対応 7校
 貸借対応 4校
- (8) 文献複写依頼業務について
各分科会で意見を交換した。

3. その他

- (1) 一般開放(卒業生含む)のサービス内容について
館内複写について
 セルフサービス 18館
 館員が複写 4館
 地域の人を対象とする相互利用のサービスについて
 サービスしている 2館 (文献複写のみ)
 卒業生の利用について
 相互利用が可能である 13館
- (2) 館内資料(貴重書)のデジタル撮影について
撮影の手続きが必要 3館
- (3) 全頁複写について、複写に関する規定の有無、複写物提供のタイミング等について事例報告があった。

今回の阪神地区担当者連絡会は、全体会、分科会(学生数別)で意見交換を行った。

以上